

韓国で開催される世界大百済典と奈良県・熊本県のご出展について 開催と出展についての事例紹介

○発表者：今井雄彦（サクラインターナショナル株式会社）

キーワード：歴史博覧会・地方自治体・観光誘致・世界遺産・運営

2010 世界大百済典の開催について

アジアにおける 2010 年度に開催される三大博覧会として、中国の上海の上海国際博覧会と奈良県の平城遷都 1300 年祭と韓国の忠清南道扶余郡と公州市の世界大百済典があげられます。

開催期間： 上海国際博覧会 : 2010 年 5 月 1 日～10 月 31 日 (予想来場者数：7000 万人)

平城遷都 1300 年祭 : 2010 年 1 月 1 日～12 月 31 日 (予想来場者数：1200 万人)

2010 世界大百済典 : 2010 年 9 月 17 日～10 月 17 日 (予想来場者数：260 万人)

中でも平城遷都 1300 年祭と 2010 世界大百済典は、歴史博覧会として関連性も深く互いに交流・協力が盛んに行われています。どちらも古代史の都で、またその博覧会の主催者も現在の自治体です。

そしてその交流の一部として平城遷都 1300 年祭の平城宮跡会場（4/24-11/7）の交流ホールでの柿落として忠清南道と熊本県が出展開催し、2010 世界大百済典の「世界大百済典世界歴史都市展」の百済エリアにおいて奈良県・熊本県が出展します。また、各自治体の代表がテープカットに参加する予定です。



両博覧会とサクラインターナショナルの関り

1400～1300 年前に活発に行われた両都市の交流を現代に結びつけ、その歴史のロマンを両市民で共有し、再び歴史都市の観光交流の一助になればと、平城遷都 1300 年祭の交流ホールでの忠清南道と熊本県の展示装飾の業務をさせていただきました。

「世界大百済典世界歴史都市展」に奈良県と熊本県が出展されることになり、2 県から当社にコンペ参加の要請を頂きました。両県とも出展の目的は、古代倭国と百済の交流の足跡を発掘物の展示やパネル、映像を通して紹介する事で、韓国における両県の認知度アップと観光客誘致でした。幸いにも両県ともに当社のプランに共感頂き、採用・実施の運びとなりました。

企画提案作業は朝鮮三国時代の古代史を紐解くことから始まりました。660 年の百済滅亡、663 年倭国軍の白村江での大敗、唐・新羅軍の倭国侵攻の防御として築城された熊本県の鞠智城、調べれば調べるほど、奈良・熊本両県とも古代百済人の夢の痕跡が至るところにありました。

短時間で古代史の全てを理解することはとても無理ですが、提案書作成前に現地取材の徹底や両県の歴史解釈など、初期情報戦が功を奏しました。中国の孫子の言葉に「彼を知り己を知れば百戦して殆うからず」と言う格言がありますが、奈良県、熊本県の両受注の道のりは、格言通りの情報戦でした。

当社の提案書への取組み体制

今回のプロジェクトチームは、全体プロデューサー、プランナー、3Dデザイナー、2Dデザイナー、そしてネイティブスタッフ（韓国人3人）を加えた7人体制でした。弊社の強みであるネイティブスタッフでの現場ハンドリングの安心感も採用頂いた要因になったと思います。



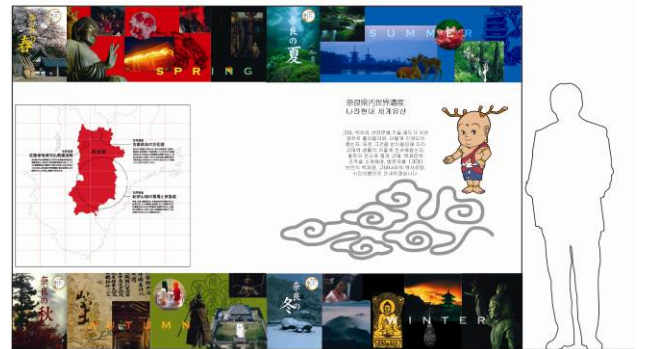
奈良県のプラン

奈良県の展示のポイントは、4世紀に百済から倭へと贈られたものとされ、その関係を記す現存最古の文字資料である国宝“七支刀”のレプリカと復元品の展示。それと百済から伝来された土器の展示です。また、展示構成要素の大きな軸としては、奈良県に3つある世界遺産の展示と開催中の遷都祭のPRコーナーです。また、ブースのディテールは当時大陸からの建築様式である朱塗りの柱と白壁をモチーフにデザインしました。最終目的である観光誘致のターゲットを一度日本を訪れた事のある50~60代の子育てを終えた年配層と設定しました。また韓国人の再訪理由の一番が“温泉・リラックス”である事から雄大でロマン溢れる奈良の歴史世界遺産を大きく取りました。当社で開発したタッチスクリーン式のアンケートで今後の活用データを収集します。



熊本県のプラン

奈良県とは異なり、熊本県は、百済が滅亡した後の話になります。唐・新羅が当時の我が国に攻め込んでこないように当時、高い技術・文化を持っていた亡命百済人共に城が築かれました。その1つである鞠智城は、歴史公園として日本の古代山城の中でも整備の進んでいる施設です。また、そこで発見された百済系菩薩立像は、日本で唯一の大変貴重な物です。今回は、そのレプリカと復元物と鞠智城の八角鼓楼の模型を展示します。こちらも最終目的である観光誘致として歴史回廊クマモトの名所や豊富な温泉、阿蘇の雄大な自然をアピールします。



また、両県の業務を1社で行う事で運営効率やコストパフォーマンスの上昇に成功しました。

